

「京都を学ぶセミナー丹波編」第4回（開催報告）

平成30年8月8日
京都学・歴彩館
075-723-4835

平成28年度から開始した「丹波の文化資源」研究プロジェクトの成果を、分かりやすく解説する「京都を学ぶセミナー【丹波編】」第4回を、下記のとおり開催しましたので報告します。

記

■ 日 時 平成30年8月7日（火）13:30～15:00

■ 会 場 京都府立京都学・歴彩館大ホール

■ 参加者数 80名

■ 内 容

講 演 京都学園大学 教授 原 雄一 氏
「丹波の道を歩くー地図アプリを使った山歩きー」

■ セミナーの様子と当日の参加者の声

近年、歩くツーリズムが国内外で人気を呼んでいる。丹波でも街道歩きや古道散策の人气が高まっているが、地図では正確に確認できない道も多く、道迷いなどの危険を伴う。地図アプリを活用すれば道迷いや遭難のリスクを減らせるという講師からの提案に、セミナー参加者は興味深く聞き入っていた。

具体的には、「鯖街道」「本能寺の変の道」「伊能忠敬測量の道」など丹波の街道の歴史を豊富な写真資料とともに解説、街道を歩く際に役立つ地図の種類や、地図アプリを使った場合の利便性、アプリの使い方について説明いただいた。

参加者の中には、普段からトレッキングを趣味とする方や山歩きに関心の高い方が多く含まれ、「街道歩きが趣味なので地図アプリを使ってみたい」「安全に山歩きを楽しみたい」「山を歩く楽しみが一つ増えた」などの感想が寄せられ、好評を得た。

